

令和3年度 第13回青森市子ども会議

- 1 日 時 令和3年11月6日(土) 9時30分～17時00分
- 2 場 所 青森市役所 議会棟4階 第1・第2委員会室
- 3 出席者 会場参加：子ども会議委員8名、子どもサポーター2名、事務局3名
オンライン参加：子ども会議委員1名
- 4 活動内容 (1)子どもの権利条約フォーラム2021 in かわさきの発表リハーサル
(2)子どもの権利に関するパネル展の展示物作成
(3)子どもの権利条約フォーラム2021 in かわさき

5 開催概要

子どもの権利条約フォーラム2021 in かわさきの発表リハーサル

午後に行われるフォーラムの発表リハーサルを行いました。前回の会議でひと通り練習したこともあり、特に問題点はなく、あとは本番を待つ練習通りに頑張ります。

子どもの権利に関するパネル展の展示物作成

11月11日、12日に駅前スクエアで子どもの権利に関するパネル展があるので、そこで展示する青森市子ども会議の展示物を作成しました。全部で5枚分の作成が必要だったので、手分けして作り始めました。いつもは高校生委員にリーダーシップをとってもらいながら進めている小学生委員も積極的に取り組み、すぐに下書きが終わりました。ペン書きや色塗りではみんなの個性があふれていました。午後も引き続き展示物の作成をし、1日でほとんど完成させることが出来ました。残りは明日の会議で完成させます。



お昼はみんなで、「味の札幌 大西」でラーメンを食べました。青森のご当地グルメである「味噌カレー牛乳ラーメン」を食べた委員や、普通のラーメン屋さんではあまりない「納豆ラーメン」などの変わりダネを食べた委員もいて、Instagramの投稿のネタが増えました。



子どもの権利条約フォーラム 2021 in かわさき

その後、「子どもの権利条約フォーラム 2021 in かわさき」に参加しました。青森市のほかに10以上の団体が参加しており、全国の子どもたちの活動内容を聞いて良い刺激を受けました。

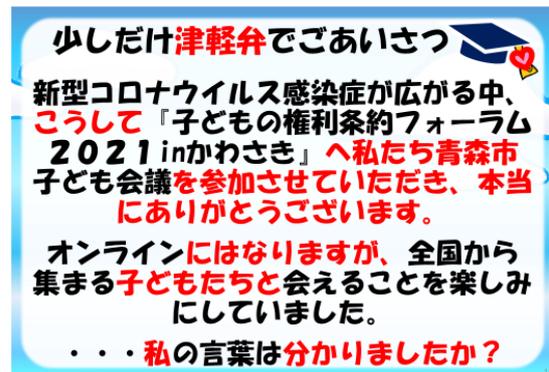
また、青森市の発表も何回も練習した甲斐あってうまくいき、「津軽弁がかわいい」などの感想をもらい嬉しくなりました。発表では、今年度の活動についてと青森市の自慢スポットについて紹介しました。

〈津軽弁で披露したあいさつ〉

わんつかばしだども津軽弁であいさつすっじゃ。

コロナが広がったばって、こして、『子どもの権利条約フォーラム 2021 in かわさき』さ、わだち津軽の子ども会議ばかだらせてもらってまんずめやぐだっきゃの。オンラインだばって、全国から集まるわらはんどと会えることば楽しみにしてたじゃ。

わの言葉わがったべが。



ディスカッションでは、発表を聞いて気になったことを質問したり、大会スローガンである「手を取りあって、にじいろの未来へ笑顔で歩もう！」について、「にじいろの未来ってどんな未来だろう」と考えたりしました。「差別がない未来」や「みんなで笑いあっている未来」など、それぞれが思うにじいろの未来について意見交換できました。



〈参加した委員の感想〉

- すごいと思った発表の仕方を参考にして、次の交流の時は工夫したい。
- 他の県の人たちと子どもの権利条約のことを話して、子どもの権利条約のことをもっと知れたので、参加してよかった。
- それぞれの活動内容で良いところはどんどん真似して、より良い子ども会議の活動ができたらいいと思う。
- 様々なアイデアに触れ、とても良い刺激を受けました！

明日も続けて会議を開き、青森市子ども会議フォーラム2021に向けた準備活動を行います。